

# 東海農政局長賞を受賞

10年度の「豊かなむらづくり表彰」（農林水産省、財団法人日本農林漁業振興会共催）で、伊勢市横輪町の横輪町活性化委員会が東海農政局長賞を受賞した。地域の自然を生かした催しを企画するなどして、地域経済の活性化だけにとどまらず、耕作放棄地の減少や景観保全、高齢者の生きがいづくりにつながったことなどが高く評価された。

【木村文彦】

## 豊かなむらづくり表彰

横輪町は伊勢市南部の中山間地域で、人口は97人、うち65歳以上は4割にあたる41人による。過疎化が進む一方で、06年6月、「地元を良くしたい」と若い世代を中心に「横輪町活性化委員会」を結成した。町民全員が委員会の会員で、町の活性化に乗り出した。

同委は全国で同町だけに咲く珍しい桜「横輪桜」や粘りの強い山芋「横輪芋」などの資源を生かし、桜の植樹会や芋の特産品の開発に成功した。また、横輪、矢持両町の活性化

の拠点として、同年11月、木造平屋建て約90平方メートルの売店「郷の恵 風輪」を開き、地場産の野菜や手芸品などを販売している。

町の来訪者数は06年は2万7000人で、風輪の売上額は544万円だった。だが、同地区に残る珍しい防風用の石垣を巡るツアーなど、四季折々の地域資源を活用した催しなどを実施した結果、09年の来訪者は7万5000人、売上額も1667万円に急伸した。

表彰は農業や農村の発

特産品開発、景観保全、高齢者の生きがい

## 地域資源活用 高く評価

農を促すことを目的に行われ、同委員会は県代表として推薦されていた。

今年と同委のほか、東海地方から農林水産大臣賞に岐阜県輪之内町の「輪

之内本戸土地改良組合」が選ばれている。25日には同委の副惣松会長（67）ら3人が伊勢市役所を訪れ、鈴木健一市長に喜びを報告した。岡会長は「4年間、頑張ってきたから、受賞することができた。地域が元気になるれば日本全国が元気になる。これからも充実した町を作り続けていく」と意欲を見せていた。



野菜やクッキーなど、手作りの商品が並ぶ「郷の恵 風輪」＝伊勢市で